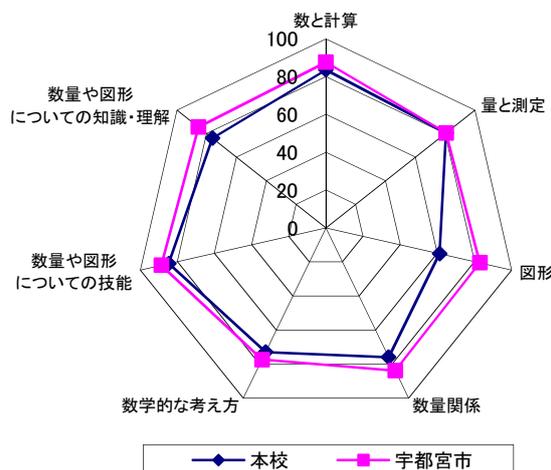


# 宇都宮市立平石北小学校第4学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	83.6	87.6
	量と測定	80.6	80.6
	図形	61.3	82.9
	数量関係	75.9	83.8
観点別	数学的な考え方	72.9	77.3
	数量や図形についての技能	84.6	88.6
	数量や図形についての知識・理解	76.1	85.5



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (83.6%)	・平均正答率は、83.6%と市の平均正答率より低い。「整数のわり算」や「小数のたし算・ひき算」等で簡単な計算は正答率が高いが、複雑な計算になると正答率が低い。また、「概数と四捨五入」で正答率が低い。	・四則計算について繰り返し練習をおこない、複雑な計算も正しく計算できるようにする。四捨五入の仕方は、練習問題を繰り返し解くことで処理の仕方を習熟できるようにする。
量と測定 (80.6%)	・平均正答率は、80.6%と市の平均正答率と同じ。「面積」は市の平均正答率より高い。「角の大きさ」に関する2つの設問中1問で市の平均正答率より低い。	・分度器の使い方を再度確認し、多くの練習問題を解く中で、知識の定着と技能の習熟を図る。また、実際に身のまわりにある様々な事物の角度を分度器で測ることで、習得した知識を活用することができるようにする。
図形 (61.3%)	・平均正答率は、61.3%と市の平均正答率より低い。「平行な辺の関係」の正答率が低い。	・作図させたり、実物に触れさせたりする活動を多く設定し、平行や垂直などの図形についての理解を深めるようにする。
数量関係 (75.9%)	・平均正答率は、75.9%と市の平均正答率より低い。「折れ線グラフ」や「四則混合の式の計算」の正答率が低い。	・折れ線グラフについて、再度基本事項を確認し、知識の定着を図る。その後、日常生活の中で学んだ知識を生かすことができるよう、伴って変わる二つの数量をグラフ化する活動を行う。四則混合の式の計算の練習を行い、計算の順序や計算の仕方についての理解が高まるようにする。